

# GRASS ROOTSに 名を刻め！

## — RESPECTから始める冒険 —

その26 (R05.05.17)

### ～ 「課題」を「プラスのちから」に変える～

世の中は少子化が叫ばれています。芝根小も同様の傾向にあり、児童数も減少をしています。3年生と6年生は単学級となっています。

単学級のよさのひとつとして、お互いの性格や得意なことがわかり、理解し合えることです。転出入の児童はいますが、6年生は3年生の時から同じメンバーで過ごしています。きっと、絆も深まっていると思います。ただ、課題として、新たな刺激が多くないことです。多様性を大切に作る時代を生き抜くには、新たな刺激を受けながら、向上力や調整力などを身に付ける必要があります。

5・6年合同体育は、このような課題を解消する上でも有効な手立てであると思っています。お互いに刺激を受けながら、「プラスのちから」に変わることを期待しています。

## 見つけたよ! RESPECTにあふれる景色

【 5月16日(火)】2年生の一言

「自分の花壇で育てている植物は、ミニトマトです。ミニトマトの苗を植えました。水やりを頑張っています。おいしいミニトマトになるといいな。」と伝えてくれました。

インタビューしなかった児童も、私に観察カードを見せてくれました。

「葉っぱだけでもきれいだな。」と書かれた文章がありました。植物を大切に育てている気持ちがあふれていますね。とても感心しました。

【 5月17日(水)】6年通信の一言

※文字数の都合で、表現を変更しています。  
マット運動をするのは、2年生の時以来なので、マット運動で首を痛めてしまった子がいました。

そのため、たくさんの人で支援するということになり、5・6年合同でマット運動をしています。

6年生はタブレットでマット運動のコツを学習し、5年生に教えています。一緒に学習することで、5年生からもたくさん刺激を受け、楽しく学習しています。

【 5月17日(水)】6年通信の児童の感想

1時間目に体育をしました。5年生とマット運動でした。(中略)5年生の子は背中がピーン!となっていて、足がまっすぐになっていたのすごいです!と思いました。